

群馬の畜産 みんなの情報室

第363号

発行日
令和7年1月31日発行:公益社団法人 群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 3階/TEL:027-220-2371 FAX:027-220-2372
ホームページ:https://www.chikusankyokai.or.jp

年頭のご挨拶 公益社団法人群馬県畜産協会 会長 林 康夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

また、平素から、本会の業務に対しまして、ご支援・ご協力いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、畜産を巡る情勢は、国際情勢の悪化、歴史的な円安、世界的な穀物需要の増大などの要因により、輸入飼料価格の高止まり、生産コストの大幅な上昇等が続いています。加えて、物価高による節約志向の高まりから牛肉消費は低迷し、牛枝肉価格や肉用子牛価格が下落する負の連鎖が重なり、畜産経営に深刻な影響を及ぼしています。このような中、畜産物価格関連対策や緊急対策が講じられていますが、酪農・肉牛経営では、依然として厳しい経営環境が続いており、生産者の高齢化や後継者問題などの複合的要因により、離農が加速しています。

家畜衛生に目を向けますと、令和7年1月に県内養豚場で10例目となる豚熱の発生が確認されました。また、高病原性鳥インフルエンザは、これまでで最も早い10月に北海道の養鶏場で発生し、その後も各地で頻発しており、全国どこで発生してもおかしくない状況となっています。これらの家畜伝染病から家畜・家きんを守るためにも、生産者、並びに関係者の皆様におかれましては、ウイルスの畜舎への侵入を防止するため、飼養衛生管理基準の遵守・徹底など、より一層の発生防止対策を実施していただくようお願いいたします。

本会といたしましては、畜産が抱える課題や実態を十分に踏まえ、家畜・畜産物の価格安定対策をはじめ、安定的な畜産経営を継続するための経営支援、飼料増産の推進、家畜や農場の衛生対策、県産畜産物の理解増進、畜産経営の人材確保のほか、10年振りに開催されます第16回全日本ホルスタイン共進会出品対策の支援など、皆様のご期待に応えられるよう役職員一丸となって全力で業務に取り組み、畜産農家の経営安定と本県畜産業の発展に寄与して参る所存であります。

結びに、令和7年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げますとともに、本会に対する一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

目 次

年頭のご挨拶	1	群馬県家畜人工授精師協会 研修会の開催	7
群馬県畜産協会 第58回理事会の開催	2	群馬県養豚協会 養豚基礎セミナーの開催	7
第28 群馬県畜産共進会(繁殖和牛の部・乳牛の部)の開催	4	令和6年度畜産会組織相互の連携による人材交流事業について	8
(株)川田牧場体験交流会の開催	5	中国四国酪農大学校研修報告	9
第13回全国和牛能力共進会北海道大会に向けた出品対策の進捗について	5	浦和競馬場における畜産フェア及び冠レースの実施	10
令和6年度家畜防疫・衛生指導対策事業に係る農場 HACCP 研修会の開催	6	価格安定事業発動状況、市況	10.11
馬飼養衛生基礎技術実習の開催	6	みんなで行こう! ケイバ! 南関東4競馬場開催日程	12

群馬県畜産協会 第58回理事会の開催

去る令和6年11月12日に群馬県JAビルにおきまして、第58回の理事会が開催されました。議案は、「令和6年度変更事業計画及び収支補正予算の承認について」及び「旅費規程の一部改正について」の2議案でした。令和6年3月15日に開催しました第55回理事会で決議されました「令和6年度事業計画及び収支予算」について、今年度の執行見込みにあわせ事業計画の変更及び収支予算の補正を行い、公益目的事業は当初の70事業から75事業に増加し、収益等事業を合わせ、合計89事業を実施する計画に変更しました。

I 変更事業計画

1 変更事業計画の概要

(1) 公益目的事業

公益目的事業は、事業内容等により、畜産経営の安定を支援する事業、畜産経営の向上を支援する事業、家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業、家畜の能力向上を促進する事業の4種類に区分されます。当初事業計画作成後に新たに実施が決定された事業や、事業内容の変更、事業量等の変更が見込まれる事業、または廃止された事業を中心に事業計画の変更を行いました。

(ア) 畜産経営の安定を支援する事業

肉用子牛生産者補給金制度および肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）は、概ね計画どおりの実施を見込みました。なお、物価高騰、世界情勢の変化、肥育生産者による肉用子牛の買い控えの影響により、肉用子牛価格は低迷し、肉用子牛生産者補給金制度では、令和5年度第2四半期に21年ぶりの黒毛和種での発動後、一部期間を除き、令和6年度第2四半期で補給金が交付されている状況です。

また、緊急対策として、国が措置した「和子牛生産者臨時経営支援事業」および「優良和子牛生産推進緊急支援事業」においては、令和5年度第2～4四半期、令和6年度第1～2四半期分で支援交付金が交付されている状況です。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）は、肉専用種を中心に、令和4年8月販売分から令和6年8月販売分までの25か月連続で発動しており、今年度、これに伴う交付金が交付されます。その他、肉豚経営安定交付金制度の登録生産者から委託を受けて実施する生産者事務受託事業の契約頭数については、参加戸数の減少に伴い、事業参加頭数の減少を見込みました。

(イ) 畜産経営の向上を支援する事業

畜産経営に対する経営向上支援、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）の機械導入事業の推進、畜産経営の労働省力化を図る畜産ICT機器等の導入支援の推進、利用組合が実施する酪農ヘルパー事業、畜産の環境保全支援、女性経営者が抱える課題に関する事業、畜産人材の確保・育成に係る事業、産業動物獣医師を希望する獣医学生への就学支援事業等は、概ね計画どおりの実施を見込みました。

令和5年度まで実施していた「酪農緊急パワーアップ事業」および「畜産経営体生産性向上対策事業（楽酪事業）」は、それぞれ「酪農労働省力化対策事業（酪農経営支援総合対策事業）」および「ICT化等機械装置等導入事業」として令和6年度に組み替えられ、引き続き、事業の一部を受託して実施します。

また、本会の自主事業である畜産協会情報提供事業において、LINE公式等を活用した、生産者や関係団体、消費者に向けた有用な情報提供を新たに実施します。

(ウ) 家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業

家畜保健衛生所や民間獣医師と連携し、家畜生産農場に対する飼養衛生管理基準の指導や実施状況の確認、家畜伝染病の発生予防のための検査およびワクチン接種、野生獣対策、家畜防疫・衛生対策、豚熱（CSF）経口ワクチン散布に係る対策協議会の運営、アフリカ豚熱（ASF）対策関連事業の侵入防止柵の設備利用状況調査、牛疾病（BSE）関連対策の促進支援、消費者に対する畜産の理解醸成を図る事業等は、概ね計画どおりの実施を見込みました。

「家畜防疫互助基金支援事業」は令和3～5年度の業務対象期間が終了したため、中央畜産会から生産者積立金返還委託業務の一部を受託し、返戻金の返戻業務を実施するとともに、令和6～8年度の新たな業務対象年間の事業を実施します。

(エ) 家畜の能力向上を促進する事業

乳牛、繁殖和牛、山羊の畜産共進会を開催する生産振興対策や、種豚を含めた家畜登録促進事業、畜産クラスター計画に基づく牛群の若い高能力牛への更新を加速化する事業、ゲノムを活用した家畜の能力評価支援事業、優良形質を持つ繁殖牛の県内保留を促進する事業、令和7年度に開催される「第16回全日本ホルスタイン共進会」の出品対策関連事業等は、概ね計画どおりの実施を見込みました。

新たに、令和9年度に開催される「第13回全国和牛能力共進会」に向け、出品候補牛の受精卵作出、管理、移植を行う出品対策関連事業のほか、酪農後継者の育成支援と振興を図る自主事業を実施します。

令和6年度 実施事業数（補正時）

（２）収益事業等
家畜登録事業については、畜産情勢の悪化に伴いホルスタイン種の家畜登録頭数の減少が見込まれますが、他の血統登録については概ね計画どおりの実施を見込みました。

Ⅱ 収支補正予算
１ 収支補正予算の概要

本会の収支構造は、補助、助成、委託等の事業に依存している割合が高いのが特徴です。公益目的事業は、畜産物生産に及ぼす経営環境の悪化、国の施策の動向、家畜衛生対策等による影響を受けやすく、また、畜産収益事業は、家畜登録頭数の増減により収支予算が変化します。

今年度の収支補正予算は、令和6年3月時点の事業計画に基づく収支予算と比較しますと、収入、費用が平行に変動する肉用子牛生産者補給金制度を補完する和子牛生産者臨時経営支援事業及び優良和子牛生産推進緊急支援事業の収支変動を除けば、予算に対する補正予算は、収入、支出ともに平行に約4%の増となっており、大きな差異はありません。軽微なものとしては、県及び中央団体等が実施する新規事業及び組替に伴う事業の変更が補正の中心となります。

（１）経常収益
収支補正予算に係る経常収益は18億3,412万円であり、7,633万円の増加を見込みました。主な要因は、再掲した「和子牛生産者臨時経営支援事業」のほか、新規事業の「優良和子牛生産者推進緊急支援事業」、「全国和牛能力共進会出品特別対策事業」等によるもの（3事業で事業費8,128万円）です。一方、事業収益は事業参加頭数の減少等に伴う減収を見込みました。

（２）経常費用
収支補正予算に係る経常費用は18億4,201万円であり、7,446万円の増加を見込みました。主な要因は、新規事業等における支払い補助金等の増加です。緊急対策として実施される「優良和子牛生産者推進緊急支援事業」は、肉用子牛生産者補給金制度の発動と連動するため、今後の発動状況により変動を見込みました。

（３）総括
このことから、経常収益計は、当初予算の17億5,778万円から18億3,412万円に、経常費用計は、当初予算の17億6,754万円から18億4,201万円に補正し増額補正としました。
これらから、税引前当期一般正味財産増減額は、当初予算のマイナス975万円からマイナス788万円に減額補正するとともに、法人税、住民税及び事業税を差引いた、当期一般正味財産増減額は、当初予算のマイナス1,275万円からマイナス287万円減のマイナス988万円に減額補正しました。
令和6年度補正において、当初予算と比較し、287万円の赤字圧縮を図りましたが、引き続き、経費節減に努め、事業の適正実施に努めて参ります。

（１）会計区分内訳表

会計区分		補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
公益目的事業会計	公1(1)経営安定支援	3 (1)			2 (1)		1 (1)	3 (3)	9 (6)
	公1(2)経営向上支援	7 (8)		1 (1)	10 (9)			9 (9)	27 (27)
	公1(3)安全・理解	4 (4)	6 (6)		4 (4)			8 (8)	22 (22)
	公1(4)能力向上	7 (6)		4 (4)	2 (2)			4 (3)	17 (15)
	小計	21 (19)	6 (6)	5 (5)	18 (16)		1 (1)	24 (23)	75 (70)
収益事業等会計	収1(1)家畜登録					6 (6)			6 (6)
	他1(1)団体事務受託						8 (8)		8 (8)
	小計					6 (6)	8 (8)		14 (14)
合計		21 (19)	6 (6)	5 (5)	18 (16)	6 (6)	9 (9)	24 (23)	89 (84)

（２）補助元等区分別内訳

補助元等	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
農林水産省	3 (3)							3 (3)
群馬県	10 (9)							10 (9)
農畜産業振興機構	6 (5)			1 (1)				7 (6)
地方競馬全国協会	1 (1)							1 (1)
家畜登録団体					6 (6)			6 (6)
中央畜産会	1 (1)	5 (5)		9 (8)				15 (14)
その他団体		1 (1)		7 (6)				8 (7)
事務受託先						8 (8)		8 (8)
その他			4 (4)	1 (1)			3 (3)	8 (8)
自己資金			1 (1)			1 (1)	21 (20)	23 (22)
合計	21 (19)	6 (6)	5 (5)	18 (16)	6 (6)	9 (9)	24 (23)	89 (84)

第28回群馬県畜産共進会(繁殖和牛の部・乳牛の部)の開催

○第28回群馬県畜産共進会(繁殖和牛の部)

令和6年10月23日(水)に群馬県畜産試験場(前橋市富士見町)にて、第28回群馬県畜産共進会・繁殖和牛の部を開催しました。出品された計48頭4組(実頭数52頭)について、体型や品位・資質等に関する(公社)全国和牛登録協会の審査標準に基づいた審査が行われ、名誉賞及び農林水産大臣賞には、みどり市の(株)グリーン・D・ファーム出品の1部未經産「どりいまあ618」が受賞しました。

繁殖和牛の部(優等1席)

	出品牛名号	出品者	備考
1部(未經産)	どりいまあ618	(株)グリーン・D・ファーム	名誉賞
2部(未經産)	たけい5の15	(株)武井牧場	
3部(未經産)	あさてる	阿久沢 拓矢	
4部(経産)	どりいむ98	(株)グリーン・D・ファーム	
5部(経産)	かみおき2065	八木原 茂	
6部(繁殖雌牛群)	ばんだい57	(株)原澤牧場	
	ばんだい56	〃	
	ばんだい39	〃	
7部(高等登録群)	ばんだい49	(株)原澤牧場	
	みなかみ552	〃	



名誉賞：第1部(未經産)どりいまあ618
出品者：(株)グリーン・D・ファーム



○第28回群馬県畜産共進会(乳牛の部)

令和6年10月25日(金)に群馬県畜産試験場にて、第28回群馬県畜産共進会・乳牛の部を開催しました。今回の出品頭数は、未經産22頭(参考出品牛1頭含む)、経産28頭の計50頭の出品でした。審査は、日本ホルスタイン登録協会のホルスタイン雌牛審査標準に基づき、体型、資質および将来性について現状の審査を行いました。審査の結果、農林水産大臣賞には、齊藤将聡氏所有の11部「ナカコー L エンド」が受賞しました。なお、各部の名誉賞は下記のとおりです。



ナカコー L エンド 齊藤 将聡氏 所有

名誉賞受賞者

部	区分	名 号	出品者
ジュニア	第1部	アガチュー プライド S ショウタイム オムレット	県立吾妻中央高等学校
インターミディエイト	第6部	ジヤグロブリッジ ラムダマン サラ ET	齊藤 将聡
シニア	第11部	ナカコー L エンド	齊藤 将聡

(株)川田牧場体験交流会の開催

令和6年11月9日(土)に利根郡川場村の(株)川田牧場にて一般消費者の親子を対象に、日帰りコースの牧場体験交流会を開催しました。

この牧場体験交流会は牧場での様々な体験を通して、畜産物の生産現場や畜産の役割についての理解を深めることを目的としています。

(株)川田牧場では、経営者である川田忠さんに案内していただき、施設の見学や搾乳体験、牛とのふれあいを楽しみました。また、体験後にはJA利根沼田で販売されている牛乳の試飲や、(株)川田牧場で生産された牛乳を使ったジェラートの試食を行いました。

牧場体験を通して、消費者の畜産への理解を深めるとともに、畜産業を職業として選択するきっかけづくりとして、今後も牧場体験交流会を開催していきたいと考えています。

■川田牧場(日帰りコース)

開催日：令和6年11月9日(土)

参加者：5組(大人6名、子供9名)

体験内容：牛舎の見学、搾乳体験、牛とのふれあい、牛乳・ジェラートの試食



体験の様子

第13回全国和牛能力共進会北海道大会に向けた出品対策の進捗について

令和6年10月16日(水)に、群馬県JAビルにて第13回全国和牛能力共進会 第2回群馬県出品対策協議会を開催いたしました。

昨年夏に設立した当協議会は、「令和9年度に開催の第13回全国和牛能力共進会北海道大会において、優秀な成績を収め群馬県産和牛の名声を高め、繁殖雌牛基盤の強化、肥育技術の向上を図ることにより、本県肉用牛農家の経営安定に資すること」を目的としており、群馬県畜産協会会長である林康夫会長を協議会長、群馬県農政部長の砂皿徹様を副会長とし、畜産関係団体の役員や各農業事務所長により構成されています。

当日は構成員及び事務局含め16名が出席し、今後の事業計画、出品選定基準、全共出品対策積立基金や出品対策スケジュールについて協議し、全議案が承認されました。

昨年の11月から12月には第8区(去勢肥育牛)の授精や移植が行われ、今年の3月からは第3区(若雌の2)の授精や移植が始まります。また、2月には出品技術研修会の開催を予定しています。第13回和牛全共に向けた本県の出品対策についてご支援・ご協力をお願い申し上げます。



挨拶をする林康夫会長



令和6年度家畜防疫・衛生指導対策事業に係る農場 HACCP 研修会の開催

令和6年11月11日（月）に、群馬県 JA ビルにて、令和6年度家畜防疫・衛生指導対策事業に係る農場 HACCP 研修会を開催しました。

今年度は、令和5年6月まで公益社団法人中央畜産会に在籍し、永く農場 HACCP の推進や衛生指導のための業務に従事され、現在は農場 HACCP 認証協議会主任審査員及び JGAP 審査員として多方面で活躍されている守永美夫氏を講師としてお招きし、「農場 HACCP 認証の取組状況及び構築支援・審査に係る課題と対応」という演題でご講演いただきました。講演内容は主に、全国における認証取得農場の傾向、農場 HACCP 認証基準の改正経緯と改正に伴う認証取得農場の具体的な取り組みについてでした。

令和6年9月末時点における認証取得戸数では、千葉県が全国1位、本県は全国3位と一見多いですが、農家戸数に対する取得率は低く、上位にある千葉県や山形県等に比べ肉用牛経営の取得数が少ない傾向にあるようです。全国的な傾向では平成29年以降、東京オリンピックをきっかけとして取得農場数が増えましたが、取得後認証継続していない農場も多くなっており、メリットが実感できていない経営や指導者不足が要因とのことでした。

農場 HACCP は衛生管理システムの構築そのものが最大のメリットであり、そのシステムを継続的に改善していくことで経営の生産性向上が図られるものですが、そのためには経営体の努力だけではなく関係団体の方の支援が不可欠です。本会としては、農場 HACCP の普及推進を図るため本研修の開催を継続いたしますので、次回も是非ご参加ください。



会場の様子



守永美夫氏

馬飼養衛生基礎技術実習の開催

馬飼養衛生管理技術の向上を図るため、令和6年11月20日（水）に群馬県馬事公苑にて、県内馬飼養者および関係者29名の参加により、馬飼養衛生基礎技術実習を開催しました。

前半は、令和6年9月18日～20日に公益社団法人中央畜産会が鹿児島大学にて実施した馬臨床実習に本県から参加した、桐生が岡動物園の星野玲子獣医師による伝達講習会を行い、馬臨床実習で取り扱った内容のうち、国内の馬の獣医事や生産の現況、馬の日常管理について講演をしていただきました。講演では、馬の疾病別に症状や予防、治療のポイントについて、1つ1つ分かりやすく説明していただき、日常管理における注意点について学ぶことができました。

後半は、県内で馬の診療に従事されている永島進獣医師、毒島美登里獣医師、小林勝幸獣医師に講師をしていただき、実際に馬を用いて、馬の骨格や内臓、馬の基本的な扱い方等について、各々の先生方に説明していただきました。

参加者は班に分かれて、各先生方をローテーションしながら実習を行い、日頃の馬飼養管理における質問を交えながら話を聞く姿が見られ、馬の飼養衛生管理に関する幅広い技術の向上を図ることができました。



伝達講習会の様子



実習の様子



実習の様子

群馬県家畜人工授精師協会 研修会の開催

令和6年11月27日（水）家畜改良事業団 前橋種雄牛センターにおいて、群馬県家畜人工授精師協会主催の研修会が開催され、会員及び関係団体計26名が出席されました。

講師の家畜改良技術研究所 難波陽介氏により「凍結精液の取り扱いに関する最新の情報について」ご講演いただきました。講演内容を2部構成とし、第1部は凍結精液の生産（採精、精液希釈、分注、封入、凍結）と品質管理、性判別精液の受胎率成績などについて、第2部は凍結精液の保管・融解時のポイントについて人工授精師の方でも日頃聞くことがない専門的な内容についてでした。また、前橋種雄牛センターで飼養されている種雄牛のうち、ホルスタイン種雄牛2頭と黒毛和種雄牛3頭を見学することができました。黒毛和種では全兄弟である種雄牛千寿剣と福之鶴の体型を見比べる大変良い機会になりました。



講師：家畜改良技術研究所 難波陽介氏



左：千寿剣

右：福之鶴

群馬県養豚協会 養豚基礎セミナーの開催

令和6年11月27日（木）に群馬県 JA ビル10階第3会議室において、群馬県養豚協会が主催し、公益社団法人群馬県畜産協会が共催する令和6年度養豚基礎セミナーが開催されました。県内養豚生産者や JA 職員、飼料会社、県機関など57名が出席しました。

前半では、株式会社食文化 代表取締役社長 萩原章史氏より、「人口減少と高齢化、東京一極集中とインバンド需要、日本産豚肉はどこへむかうのか！」という演題でご講演いただきました。萩原氏のブランディング経験や現在取り組んでいる食品流通事業等についてご説明いただきました。

後半では、独立行政法人家畜改良センター 理事長 入江正和氏より、「霜降り豚肉を作るアミノ酸比率法と食味向上のための脂肪質の重要性」という演題でご講演いただきました。日本における霜降り豚肉の改良の現状についてご説明いただきました。遺伝的要因と飼養管理要因を併用した霜降り豚肉の改良が効果的であるとのことでした。

それぞれの講演後は、質疑応答や意見交換が活発に行われ、大変充実した講演会となりました。



萩原章史氏



入江正和氏



会場の様子

令和6年度畜産会組織相互の連携による人材交流事業について(事業統括：羽鳥 正子)

畜産会組織の連携による交流・研修を通じ、自ら従事している業務や組織運営について考え、意見交換を図る目的で、令和6年12月2日(月)～6日(金)に(公社)栃木県畜産協会において、研修を行ってまいりました。私の従事する総務・経理・組織運営の他、多くの実施事業について学ばせていただきました。本県と同様に、少ない職員での事業実施の難しさや人材育成や派遣・臨時職員の抱える課題など多く共感し、情報共有することができました。

特に和牛登録業務については、本県の2倍もの登録頭数の業務を管理されている方法を学び、和牛登録申込を入り口とした肉用子牛生産者補給金制度の加入手続きなど、効率的に業務を実施している仕組みはとても勉強になりました。

また、衛生防疫指導関係においては、栃木県主務課との連携・協力体制のもとに事業を展開している取組みについて学びました。

視察した研修の中では、本県では取扱いの無い「馬の登録」について、主にホースセラピーとして活躍する小格馬(ポニー)を飼育している農場での繁殖登録業務に帯同させていただきました。繁殖登録時に測定する体高、背高により、血統登録時の品種が変わることがあると聞き、とても興味深く、学ばせていただきました。

短い期間ではありましたが、多くの職員の方と多くの事業について情報交換することができ、さらに横の繋がりを深めることができ、今まで以上に畜産会組織の連携強化を図ることができたと思います。今後も広く人材交流を通じて、本会組織運営や職員ひとりひとりの業務改善・課題解決など、畜産振興に対する新たな取り組みや意識向上に繋がるよう、研修等に取り組んでいきたいと考えます。



視察の様子



中国四国酪農大学校研修報告（酪農中小家畜担当：今井 司）

令和6年9月29日から10月11日までの2週間、岡山県真庭市の中国四国酪農大学校で実施された「酪農フィールド研修2週間コース」に参加しました。この研修は、酪農に関する実践的な知識と技術を学ぶことを目的としており、全国から酪農関係者が集まる貴重な機会です。

私は畜産協会に入職して2年が経過し、酪農ヘルパー事業を担当していますが、これまで酪農現場での実務経験がありませんでした。そのため、ヘルパーが実際にどのような業務を行っているのかを理解し、今後の事業運営に生かすことを目的に参加しました。



中国四国酪農大学校校舎



牧場内見学



ジャージー種が約140頭飼養

研修では、講義と実習を行い、実践的に学べるスケジュールが組まれていました。

講義では、繁殖管理や搾乳理論、自給飼料の計算方法など、酪農業務を支える基礎知識を学びました。ここの研修の良いところは、座学で学んだことを実際の現場で確かめることができる点にあります。

実習では、ホルスタイン種約120頭、ジャージー種約140頭の給餌、除糞、搾乳といった日々の業務を体験しました。搾乳作業では、機械の使用手順を学びながら実際に牛舎で作業を行うことで、現場の状況を深く理解することができました。

研修日程

9/29(日)	研修内容説明・オリエンテーション
9/30(月)	AM開校式・校内施設見学、牧場作業（給餌、除糞）
10/1(火)	講義（泌乳生理、搾乳理論）牧場作業（給餌、除糞、搾乳）
10/2(水)	講義（畜産概論、機械演習）牧場作業（哺育、搾乳）
10/3(木)	講義（畜産繁殖、家畜繁殖）牧場作業（哺育、搾乳）
10/4(金)	講義（飼養管理Ⅰ、飼養管理Ⅱ）牧場作業（搾乳、給餌、除糞）
10/7(月)	講義（家畜衛生、搾乳関連施設視察：おからくクーラーステーション）
10/8(火)	講義（自給飼料、飼料計算演習）牧場作業（除糞、給餌、搾乳）
10/9(水)	講義（牛の保定演習、機械設備説明・実践）牧場作業（除糞、給餌、搾乳）
10/10(木)	講義（衛生管理、乳代計算書の見方、糞尿処理）牧場作業（除糞、給餌、搾乳）
10/11(金)	閉講式、牧場作業（除糞、給餌）ひるぜんジャージーランド視察

研修での一日の動き



模擬牛での搾乳講義



実際の搾乳作業



牛舎内での給餌作業

本研修を通して、農家ごとに異なる業務の進め方や作業量の違いを踏まえ、ヘルパーの方々が働きやすい環境を整えることが重要だと感じました。今回の経験をもとに、現場の声を聞き、改善策を考えながらより良い支援体制を築いていきたいと思います。

浦和競馬場における畜産フェア及び冠レースの実施

令和6年11月18日～22日の5日間にわたり、埼玉県、栃木県、長野県、本県の4県の畜産協会及び馬事畜産振興協議会共催のもと浦和競馬場において畜産フェアを実施しました。

本県が担当した11月18日は、来場者プレゼントとして東毛酪農の飲むヨーグルトを先着500名に配布し、入場口は大変な賑わいを見せました。

同日には本県畜産関係団体主催のもと冠レースを4競走（群馬県畜産協会長賞、上州和牛賞、高崎ハム賞、東毛酪農63℃賞）実施し、優勝馬の馬主や騎手、調教師に副賞を授与しました。

また、畜産フェア開催期間中には、南関東4競馬場HP上において、ランチタイムチャレンジキャンペーン第8弾を開催し、専用サイトにて応募をした方に抽選で群馬・栃木・埼玉・長野、各県の畜産物をプレゼントしました。総勢64,830名の応募があり、当選者には本県畜産物として高崎ハムギフトセットを90名に発送しました。

浦和競馬場畜産フェアの参加により、地方競馬および畜産振興の活性化および県産畜産物への感心をより一層高めるため、今後も取り組んでまいります。

レース名	主催者	馬名	騎手
上州和牛賞	群馬県食肉品質向上対策協議会	ビックリマーク号	笹川 翼
東毛酪農63℃賞	東毛酪農業協同組合	ノースハマナス号	加藤 和博
高崎ハム賞	JA全農ミートフーズ(株) 高崎ハム営業本部	トーセンジェミニ号	笹川 翼
群馬県畜産協会長賞	(公社)群馬県畜産協会	モニュメントキング号	野畑 凌



騎手と共に来場者プレゼントを配布

価格安定事業発動状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況

区分				平均売買価格(円)					交付単価(円)					交付額(円)								
業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑				
7	6	1 ~ 3	第4四半期	562,200	585,300	232,100	173,600	347,700	-	0	90,510	-	-	-	-	-	-	-				
		4 ~ 6	第1四半期	541,400	606,100	-	177,500	318,500	22,600	0	-	-	-	17,537,600	-	-	-	-				
		7 ~ 9	第2四半期	498,900	649,800	-	201,700	299,500	65,100	-	-	-	-	59,045,700	-	-	-	-				
		10 ~ 12	第3四半期	521,900	677,100	-	201,300	329,400	42,100	-	-	-	-									
計				※他肉(その他肉専用種)はR2年度より算定期間が1年(4月～3月)となりました。																		

【優良和子牛生産推進緊急支援事業の平均価格等(令和6年10月～12月分)】

1 発動基準価格及び平均価格

品種・ブロック名		発動基準価格			平均価格	奨励金 発動基準
		A	B	C		
黒毛和種	北海道	600,000	580,000	570,000	545,574	C
	東北				533,659	C
	本州関東以西・四国				542,819	C
	兵庫県				1,009,645	—
	九州・沖縄				501,641	C
褐毛和種		550,000	530,000	520,000	677,100	—
その他の肉専用種		350,000	330,000	—	—	—

1 発動基準ごとの奨励金単価

(単価:円/頭)

品種	発動基準価格			
	発動基準	取組数2	取組数3	取組数4以上
黒毛和種	A	10,000	10,000	10,000
	B	10,000	20,000	20,000
	C	10,000	20,000	30,000

※本県の事業参加者は全員取組数4以上

◆肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン） 交付金交付状況

期間	品種区分	納付区分	支払区分	交付対象		交付金の額			交付日
				人数 (人)	頭数 (頭)	(円) (4/4)	交付金として 支払う額(3/4)	積立金から 支払われる額(1/4)	
11月期	肉専用種	通常	概算払		1,257	25,121,862	18,841,368	6,280,494	概算払 令和7年 1月29日
		猶予				0			
		計		80	1,257	25,121,862	18,841,368	6,280,494	
	交雑種	通常	概算払		0	0	0	0	
		猶予				0			
		計		0	0	0	0	0	
	乳用種	通常	概算払		3	98,701	74,025	24,676	
		猶予				0			
		計		2	3	98,701	74,025	24,676	
	小 計	通常	概算払		1,260	25,220,563	18,915,393	6,305,170	
		猶予			0	0	0	0	
		計		82	1,260	25,220,563	18,915,393	6,305,170	

■肉用豚経営安定交付金制度（豚マルキン）

算出期間	令和6年4月から12月まで
肉豚1頭当たりの標準的販売価格	46,811 円/頭
肉豚1頭当たりの標準的生産費	42,719 円/頭
肉豚1頭当たりの交付金単価	—

市況

■和牛子牛市場成績【JA 全農ぐんま渋川家畜市場】

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
1	雌	96	832,700	223,300	477,491	297	296	1,606
	雄	1	662,200	662,200	662,200	340	294	1,947
	去勢	166	958,100	240,900	653,989	327	289	1,996
	合計	263	958,100	223,300	589,595	316	292	1,862

■乳用牛市場成績

開催月	畜種区分	授精区分	腹子品種	頭数(頭)	平均体重(kg)	平均価格(円)
11	未経産			16	274	153,625
	初妊	AI	ホルス	6	533	348,667
			交雑種	28	568	405,000
		ET	和牛	4	574	457,250
		IVF	IVF	1	570	555,000
	経産			28	573	282,857
		AI	ホルス	8	708	331,125
			交雑種	35	667	309,314
		ET	和牛	1	668	365,000
		IVF	IVF	2	735	381,000
		合計		129	570	316,248

■前橋家畜市場取引結果 【群馬県家畜商商業協同組合】 開催日 令和6年12月1日～12月31日

品種	区分	性別	売買頭数	最高値(円)	最低値(円)	平均(円)	平均体重(kg)
和牛	子牛	メス	169	605,000	49,500	359,576	149
		オス	259	773,300	11,000	489,886	167
	スモール	メス	1	181,500	181,500	181,500	67
		オス	2	282,700	148,500	215,600	66
交雑種	子牛	メス	33	349,800	40,700	231,667	249
		オス	28	375,100	8,800	143,448	151
	スモール	メス	631	371,800	550	121,756	86
		オス	804	259,600	440	134,595	92
乳牛	子牛	メス	3	36,300	33,000	34,467	150
		オス	3	16,830	2,860	10,707	87
	スモール	メス	11	62,700	3,520	20,910	70
		オス	251	70,400	330	20,987	74
乳用種	スモール	オス	3	8,360	550	3,337	56



みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください

◆BAOO高崎

群馬県高崎市岩押町 12-16
お問合せ：027-322-5192



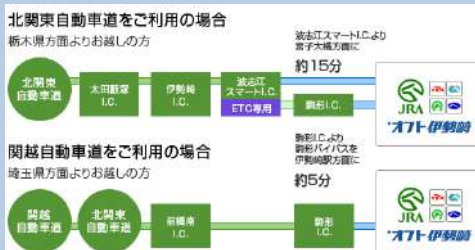
ロイヤル席
個別モニター付き特別
観覧席で快適な一日を
お過ごしいただけます

◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド4階
お問合せ：0270-23-0535



平日、大井、川崎、
船橋、浦和の馬券が
購入できます



【開催日程】

2月																												☀ 昼開催				🌙 薄暮開催				🌃 ナイター開催				📺 番組表			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28															
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金															
浦和																								🌃 SI	🌃	🌃	🌃	🌃															
船橋										🌙	🌙 JpnII	🌙	🌙	🌙																													
大井																	☀	☀	☀ JpnII	☀	☀																						
川崎				☀	☀ SI	☀	☀	☀	☀																																		

3月																																☀ 昼開催				🌙 薄暮開催				🌃 ナイター開催				📺 番組表			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月																
浦和																	🌃	🌃	🌃 SI	🌃 SI	🌃																										
船橋										🌙	🌙 SI	🌙 JpnII	🌙	🌙																🌙																	
大井										☀	☀	☀	☀ SI	☀										🌃	🌃	🌃 JpnII	🌃	🌃																			
川崎		☀	☀	☀	☀	☀																																									

4月																																☀ 昼開催				🌙 薄暮開催				🌃 ナイター開催				📺 番組表			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水																	
浦和																				🌃	🌃	🌃 SI	🌃	🌃																							
船橋	🌙	🌙	🌙	🌙																																											
大井													🌙	🌙	🌙 JpnII	🌙 SI	🌙										🌙	🌙 JpnI	🌙 SI																		
川崎					🌙	🌙 SI	🌙 JpnI	🌙	🌙	🌙																																					

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今回の年末年始のお休みは大型連休ということもあり、満喫できたのではないのでしょうか。私は毎日サウナに通い、のんびり過ごしました。

今年の干支である「巳」には「再生」や「復活」という意味があり、蛇が皮を脱ぎ捨てて生まれ変わるように、巳年は新しい始まりや変化を意味します。現在畜産業界は豚熱や鳥インフルエンザ、各種資材の高騰など大変な出来事が続いています。良い方向への変化の一年になるよう本会職員として精一杯取り組んでいきたいと思っています。本年もよろしくお願いいたします。